

No.	40	-	1	事務事業名	水田農業構造改革事業	細事務事業名	水田農業構造改革事業	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月30日				
課名	農政課		グループ	農政	担当課長名		安井耕史	シート作成者名		佐野晴典					
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等					
総合計画	政策目標	5 豊かで活力に満ちたやとみ				実施計画		事業の開始・終了							
	施策項目	農水産業の振興				<input type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
個別計画	主要施策	農産物の生産性の向上、高品質化の促進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)												
事業の目的	農業者		国・県・団体との連携のもと、指導・支援体制の強化を図り、需要に即した計画的な米の生産や麦大豆作の栽培拡大及び団地化を促進します。												
事業の内容	農業者が転作を実施するに要する経費に対して補助します。(平成28年度より戦略作物に限定) 麦大豆作(団地化・担い手への集積)を実施するに要する経費に対して補助します。														
成果指標	①	指標名	生産調整実施面積				単位	～	②	指標名	麦・大豆集団化面積				
		指標設定の考え方	生産調整実施面積							指標設定の考え方	団地化・担い手への集積による麦大豆作付け面積				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度							
	実績	662	実績	541	目標	580	目標	610	実績	402	実績	420	目標	440	目標
目標	679	目標	547	目標	580	目標	610	目標	409	目標	420	目標	440	目標	430
予算費目	会計	一般会計				款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	
直接事業費	平成 27 年度決算額		平成 28 年度決算額				平成 29 年度予算額								
	国・県支出金	6,100 千円				6,300 千円				6,700 千円					
	地方債														
	その他特定財源														
	一般財源	48,001 千円				45,653 千円				50,200 千円					
	計(A)	54,101 千円				51,953 千円				56,900 千円					
人件費(B)	正職員工数・経費	0.410 人				0.410 人				0.410 人					
	臨時職員工数・経費	2,829 千円				2,829 千円				2,829 千円					
全体事業費(A+B)	56,930 千円				54,782 千円				59,729 千円						
CHECK	チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価								
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	需要に即した計画的な米の生産や麦・大豆の栽培拡大及び団地化が必要です。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	米価の安定に寄与しています。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	生産調整については、十分目標達成できていますが、麦・大豆集団化については、概ね目標を達成できています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている									
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない									
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している									
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している									
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	現状の維持が必要です。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ							
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ								
ACTION	一次評価		二次評価												
	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	総合評価	A					
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等						
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止							
	当面の課題	農家数の減少及び毎年10haほどの農地面積が農地転用などにより減少となっているので、生産調整目標の見直しが必要となってきています。				二次評価での指摘事項(部長の総括意見)									
課題解決のための改善計画	経営所得安定対策加入者の確保及び農業振興地域整備計画に基づく優良農地の保全を実施します。				米の生産調整を実施するうえで転作作物の集団化及び土地利用型農業者の育成確保のために必要不可欠であります。										
備考															